

これが真実！ 『鬼平犯科帳』

定員・回数：60人・3回
 時間・場所：午前 10:00～11:30・研修室
 費用：受講料 600円
 講師：名城大学 法学部 准教授 代田清嗣

池波正太郎の名作『鬼平犯科帳』は、映像化などもされ多くの人に親しまれています。しかし、主人公の“鬼平”こと長谷川平蔵の描写は、池波による創作の部分が多く、実際の人物像はあまり知られていません。講座では、江戸時代の史料に基づきながら、“鬼平”の性格や、火附盗賊改としての活躍の実態を解説します。

11/18(土)	<p>「本所の鍔（てつ）」の真実 - 鬼平の生い立ち -</p> <p>「本所の鍔」と呼ばれた放蕩三昧の青春時代は、“鬼平”の魅力のひとつですが、史実は少し異なるようです。平蔵の家族関係や昇進歴などから、彼の火附盗賊改就任までの動静や、あまり知られていない一面を探ります。</p>
11/25(土)	<p>鬼平の裁判実録 - 鬼か、仏か -</p> <p>どうせ捕まるならば平蔵様に。盗賊にこうまで言わせた平蔵の捜査や裁判は、実際にはどのように行われたのでしょうか。当時の裁判記録等から、彼が犯罪を、そして人間をどのように見ていたのかについて考察します。</p>
12/ 2(土)	<p>人足寄場と鬼平 - 現代につながるまなざし -</p> <p>徳川幕府の刑事法に大転換をもたらした「人足寄場」。その開設は、平蔵が役人としての命運を賭けた一大プロジェクトでした。寄場の中の様子も詳しく説明しながら、彼がこの施設に込めた願いと、彼の晩年を辿ります。</p>